

MIKAMI

取扱説明書

シリアル／同軸コンバータユニット

PTC-SCX01C



このたびは、シリアル／同軸コンバータユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	3
はじめに	6
用語について	6
概 要	6
特 長	6
使用上のご注意	7
各部の名称	8
接続のしかた	10
動作確認とメニュー設定のしかた	10
システム接続例	23
困ったときは	24
仕 様	25
外 形 図	25
インターフェース接続図	26
M E M O	27

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
  	 
分解禁止 禁 止 接触禁止	強 制 電源プラグを抜く



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

不安定な場所に取り付けない

ぐらついた所や傾いた所など不安定な場所に取り付けしないでください。
落下して、けがの原因となります。



禁 止

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある場所に取り付けてください。
十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強 制

専用の取付金具を使用する

指定以外の取付金具を使用すると、落下して、けがの原因となります。



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

屋外に設置しない

本機の使用場所は、屋内です。

屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。

また、雨などが直接かかると、感電の原因となります。



禁止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を中止し、電源プラグを抜いて所定の窓口にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入っているとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 画面が映らないとき



電源プラグを抜く

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は所定の窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に異物を入れない

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグにはさわらないでください。

感電の原因となります



接触禁止

旋回カメラの周囲を確認する

旋回カメラは機器の特性上、遠隔操作により動作させますので操作器側共、安全確保には、十分に注意してください。

また、回転範囲内には物を置いたり立ち入らないでください。

急な動作により転落などの重大な人身事故の原因となります。



強制



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

ケーブルを引っ張らない

コネクタやプラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずコネクタやプラグを持って抜いてください。



禁止

機器を取り外すときは電源プラグを抜く

電源プラグを差しこんだまま機器取り外すとコードが傷つき、
火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

直射日光のあたる場所などに置かない

直射日光のあたる場所や熱器具近く、油煙や湯気のあたるような場所に
置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

工事は所定の窓口に相談する

工事には、技術と経験が必要ですので、所定の窓口にご相談ください。
適切な工事を行わないと、火災・感電・けがの原因となることがあります。



強制

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。
倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因
となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差しこんでください。



強制

お手入れの際、長時間使用しない場合の注意

お手入れのときや長時間本機をご使用にならないときは、安全のため電源プラグを
コンセントから抜いてください。

守らないと感電・火災の原因となることがあります。



電源プラグ
を抜く

定期的な点検をする

所定の窓口に、定期的な点検を依頼してください。
取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることが
あります。



禁止

はじめに

本書では、シリアル／同軸コンバータユニット PTC-SCX01□（以降 <<SCX>>）と PTCシリーズの一体型巡回カメラ同軸多重制御型（以降 <<巡回カメラ>>）を組合わせた場合の使用方法や制御する為の設定について説明します。

用語について

本書では、次の用語について定義しています。

SCX	⇔	シリアル／同軸コンバータユニット（PTC-SCX01□）
ローカル	⇔	ローカル操作又は、SCX前面部にあるスイッチ操作
リモート	⇔	リモート制御又は、SCX背面部にあるシリアル制御
コントローラ	⇔	操作器（PTC-032CB 又は PTC-123CB）
OSD	⇔	オンスクリーンディスプレイ
SEQ/RND	⇔	シーケンシャル／ランダム動作
巡回カメラ	⇔	PTCシリーズの一体型巡回カメラ（同軸多重制御型）
制御コマンド	⇔	当社、通信コマンドです。別紙、通信仕様書を参照願います。
ステータス要求コマンド	⇔	当社、通信コマンドです。別紙、通信仕様書を参照願います。

概要

本製品は、巡回カメラとコントローラを組合わせてシリアル信号（RS-485/RS-232C）を映像信号に重畳し同軸多重方式に変換するコンバータユニットです。

また、SCX前面の押しボタンスイッチにて巡回カメラのローカル操作やOSDの設定ができます。

特長

- ・ SCXを使用することにより巡回カメラ間は同軸ケーブル1本 ※1 で映像と制御が可能になります。
- ・ SCXから巡回カメラまでの距離は、同軸ケーブルの5C-2Vで1.2km、7C-2Vで1.7kmまでを制御可能な範囲とします。※2
- ・ 同軸ケーブルの距離が長くなり、映像信号の減衰による映像のゆがみが見られる場合、ケーブル補償スイッチの設定を変えることにより、改善することができます。

※1 電源ラインは含まれません。

※2 通信距離は設置状況（外来ノイズで映像が乱れる場合や映像信号レベルが極端に低下している場合等）によっては、上記、距離を満たさない場合もありますので予めご了承ください。

使用上のご注意

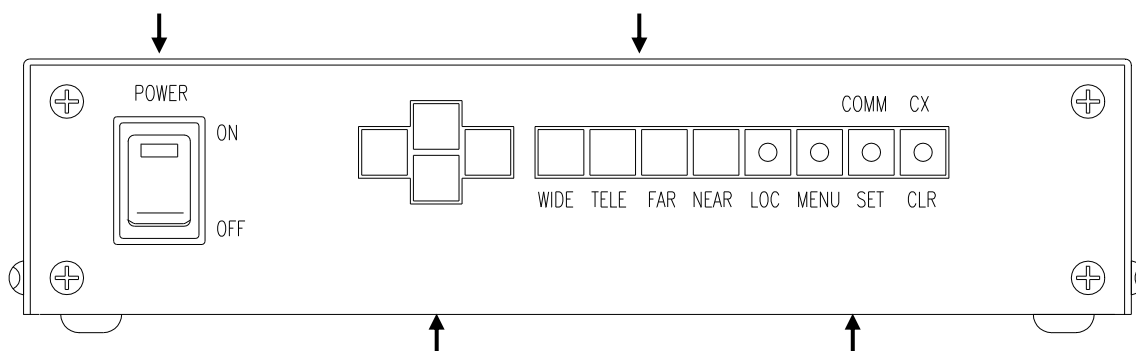
- 強いショックや振動を与えないでください。故障の原因となります。
- 温度が0～+45℃、湿度85%以下の場所でお使いになることを推奨します。
- 特別な固定方法は設けておりませんが、必要に応じて市販の固定ベルト等で固定してください。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布をかたくしぼってから使用してください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。
- SCX単体では、雷サージ侵入に対する保護機能がありません。落雷等、サージによる災害を被る可能性が考えられる場合は、映像信号ライン及びRS-485信号ラインや電源ラインに雷サージ侵入に対する保護装置を取り付けてください。
注) 雷サージ侵入による故障は、保証期間内でも有償にて修理となります。

各部の名称

<前面部>

① POWERスイッチ(LED付)

③ レンズ押しボタンスイッチ



② 上下左右押しボタンスイッチ

④ 各種押しボタンスイッチ(LED付)

① POWERスイッチ

…ONでLED(緑色)が点灯。

② 上下左右押しボタンスイッチ

…ローカル時の旋回カメラ操作用及び
OSDメニュー設定時のカーソル移動操作用。

③ レンズ押しボタンスイッチ

…WIDE、TELE、FAR、NEAR ローカル時のレンズ操作用

④ 各種押しボタンスイッチ

…LOC → ローカル
LED表示：ローカル可能状態で点灯、リモート時消灯 ※1

MENU → メニュー設定

LED表示：OSDメニュー設定可能状態で点灯、
リモート時消灯 ※1

SET → 決定

LED表示：COMM…シリアル制御中に点滅
(SET ボタンとは関係ありません)

CLR → 戻る

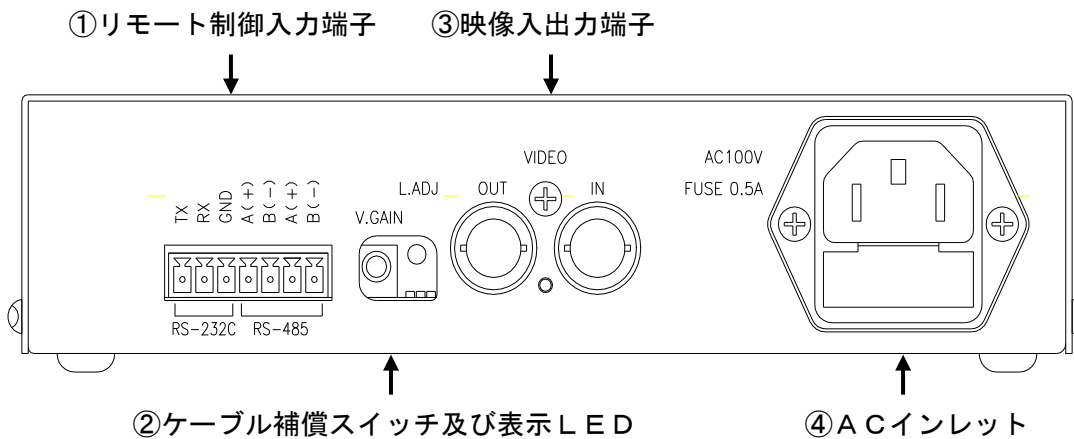
LED表示：CX…同軸制御操作可能状態で点灯
(CLR ボタンとは関係ありません)

※1…リモートからの制御コマンドで消灯します、但し、ステータス要求コマンドでは消灯しません。また、OSDメニュー設定により、ローカル操作中(メニュー操作含む)のローカル/リモート制御優先設定がありますので、詳細はP21参照願います。

⑤ その他操作

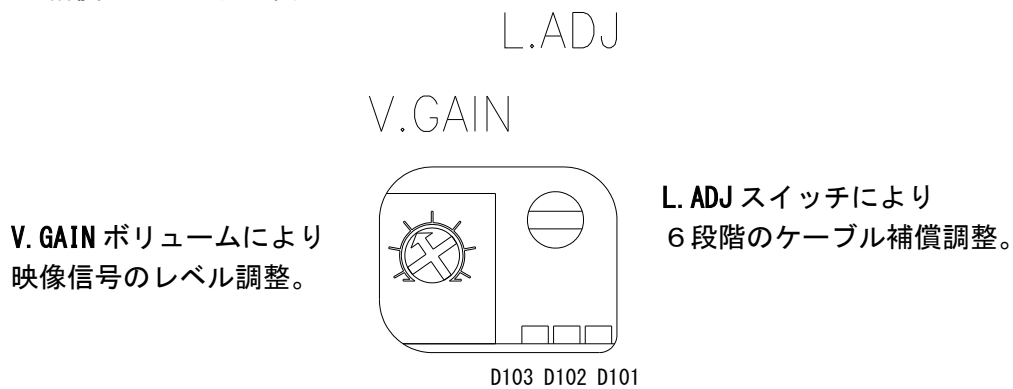
- ・ローカル時に WIDE、TELE を同時に押すとワイパーが動作します。
- ・ローカル時に FAR、NEAR を同時に押すとオートフォーカス(AF)が動作します。
- ・ローカル時に SET と上下左右押しボタンスイッチ及びレンズ押しボタンスイッチを同時に押すとプリセットが動作します。
対応するポジションは上下左右押しボタンスイッチの左(1POSTION)、上(2 POSTION)、下(3 POSTION)、右(4 POSTION)とレンズ押しボタンスイッチの WIDE(5 POSTION)、TELE(6 POSTION)、FAR(7 POSTION)、NEAR(8 POSTION)の8ポジションのみです。

<背面部>



①リモート制御入力端子 … RS-485 又は RS-232C どちらかを選択して接続します。

②ケーブル補償スイッチ及び表示LED …



LED表示：D103 (緑色…同軸制御操作可能状態で点灯)

D102 (黄色…シリアル制御中に点滅)

D101 (赤色…通信エラー時点灯)

③映像入出力端子 … NTSC/PAL : VBS 1.0V(P-P) 75Ω

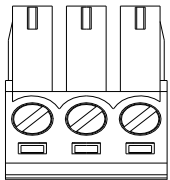
④ACインレット … AC100V±10% 50Hz/60Hz
ヒューズ 1本 (125V 0.5A Φ5.2 × 20)

接続のしかた

SCXと各機器接続は必ず、双方の電源を切って作業を行ってください。

1. 制御入力端子 … シリアル信号を接続します。RS-485又はRS-232Cどちらかを選択して接続します。制御入力ケーブルの挿抜は挿抜用ネジを精密マイナスドライバー等で押しながら行ってください。
又、インターフェース接続図はP26をご参照ください。

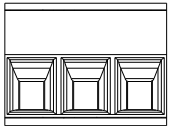
付属プラグ(上)



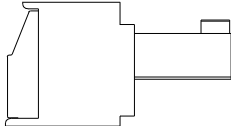
挿抜用ネジ(精密マイナスドライバー等をご使用ください)

電線挿入口：適合電線(単線又は撚線) AWG24~16
電線むき推奨長さ7~8mm

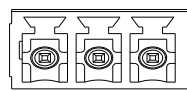
付属プラグ(背面)



付属プラグ(横)



本体側ソケット

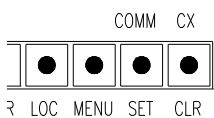


2. 映像入出力端子 … BNC接栓により接続。
VIDEO IN側 … 巡回カメラと接続
VIDEO OUT側 … モニタ等と接続
3. ACインレット … 付属されています電源ケーブルをご使用ください。

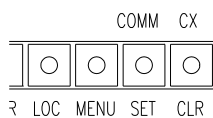
動作確認とメニュー設定のしかた

<SCXの初期動作>

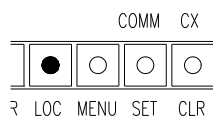
1. 各機器の接続後、電源を入れてください。
2. SCXの電源をONします。(前面部POWERスイッチ、緑色のLEDが点灯していることを確認してください。) VIDEO OUTにモニタを接続していれば、映像は出力されます。
3. SCXの電源投入後は、前面部LED表示が下記①~⑨のように推移します。(約5秒)
4. 前面部、CX LEDが点灯していれば、同軸制御操作可能状態です。(下記⑩)



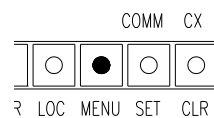
①全点灯



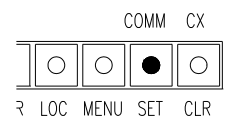
②全消灯



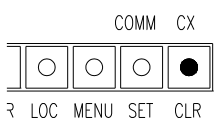
③LOC点灯



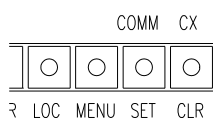
④LOC消灯 MENU点灯



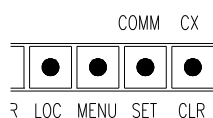
⑤MENU消灯 COMM点灯



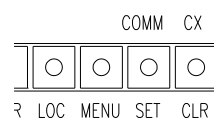
⑥COMM消灯 CX点灯



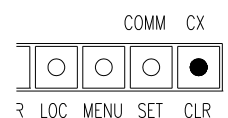
⑦CX消灯



⑧全点灯



⑨全消灯



⑩制御可能状態 CX点灯

<ローカル操作での動作確認手順>

1. 前面部、LOCボタンを押して、LOC LEDが点灯していれば、上下左右押しボタンとレンズ押しボタンにて、接続されている巡回カメラのローカル操作が可能になります。(下記、図1) 再度、LOCボタンを押すかリモート制御を受信した場合 ※1などはLOC LEDは消灯します。又、映像ラインに障害があるとLOC LEDとCX LEDは消灯します。

※1…リモートからの制御コマンドで消灯します、但し、ステータス要求コマンドでは消灯しません。また、OSDメニュー設定により、ローカル操作中(メニュー操作含む)のローカル/リモート制御優先設定がありますので、詳細はP21参照願います。

2. ローカル操作中(下記、図2) やリモート制御を受信中(下記、図3)はCOMM LEDが点滅します。

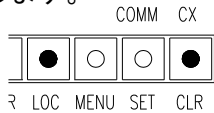


図1：ローカル制御待機
LED状態：CX点灯
：LOC点灯

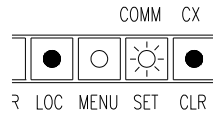


図2：ローカル制御操作中
LED状態：CX点灯
：LOC点灯
：COMM点滅

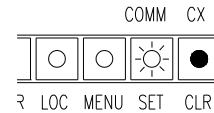
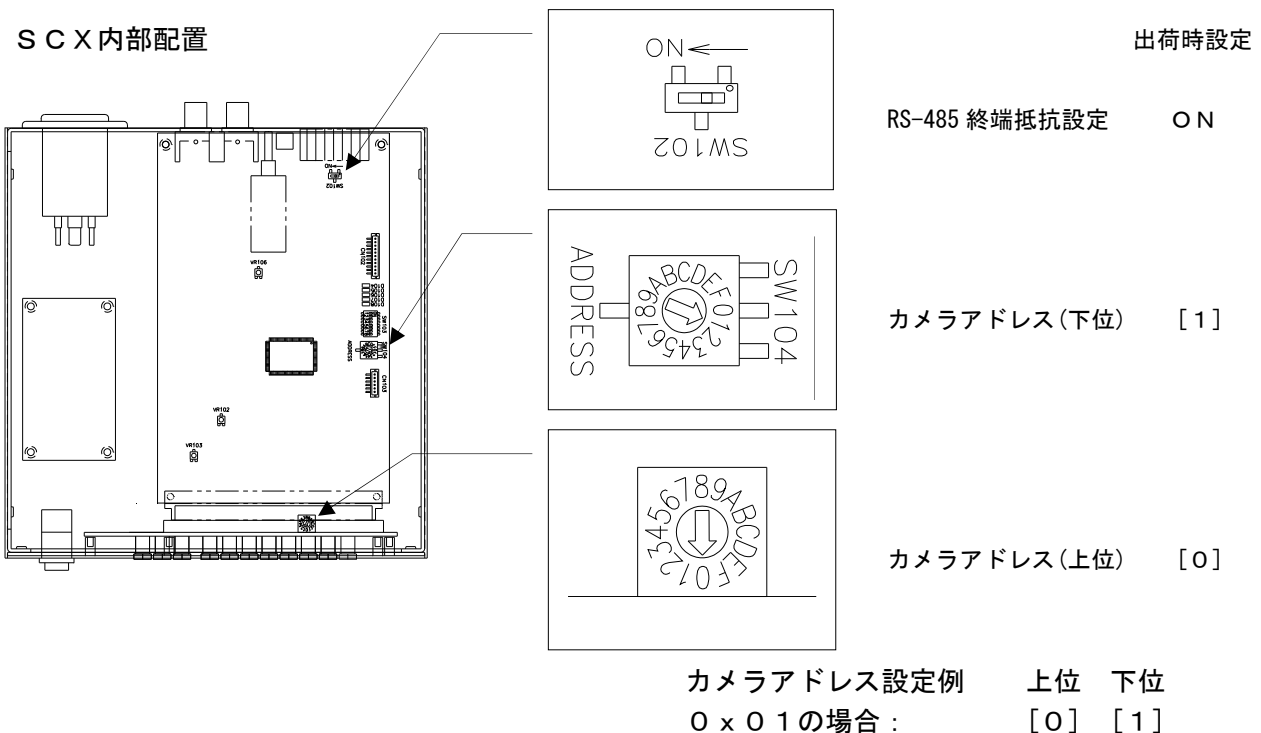


図3：リモート制御操作中
LED状態：CX点灯
：LOC消灯
：COMM点滅

3. ローカル操作時、巡回カメラやレンズの動作速度を変えたいときはメニュー操作からの変更となります。詳細はP21をご参照ください。

<リモート制御での動作確認手順>

1. 背面部、RS-485又はRS-232Cどちらかを選択し接続します。
2. RS-232Cで制御を行う場合は、各巡回カメラの通信仕様書を参照して、通信コマンドを送信してください。工場出荷時はカメラアドレス01(0x01)となっております。
3. RS-485で制御を行う場合は、各巡回カメラの通信仕様書を参照して、通信コマンドを送信してください。工場出荷時はカメラアドレス01(0x01)となっております。但し、複数台接続の場合は本製品のカバーを開けて、カメラアドレスを重複しないように設定してください。又、RS-485終端抵抗のON/OFF設定も行ってください。終端抵抗設定は出荷時はONとなっております。終端抵抗の設定が適切でないと誤動作や動作しないこともありますので、ご注意ください。



<ケーブル補償について>

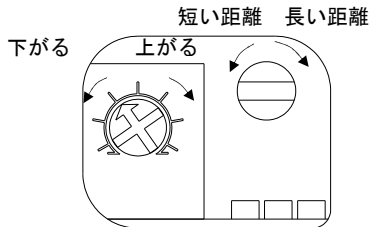
接続されている旋回カメラとの距離に合わせて、映像信号の減衰による映像のゆがみが見られる場合はケーブル補償調整を L. ADJ 及び V. GAIN により行ってください。

背面部

L.ADJ

L. ADJ は 6 段階のロータースイッチによりケーブル補償調整。

V.GAIN



V. GAIN は可変抵抗ボリュームにより映像信号のレベル調整。
※お願い…V. GAIN 調整は、波形モニタ等で確認しながら適切な映像信号レベルに調整してください。

調整を行う際は、精密マイナスインドリバー等をご使用ください。

<OSDメニュー設定について>

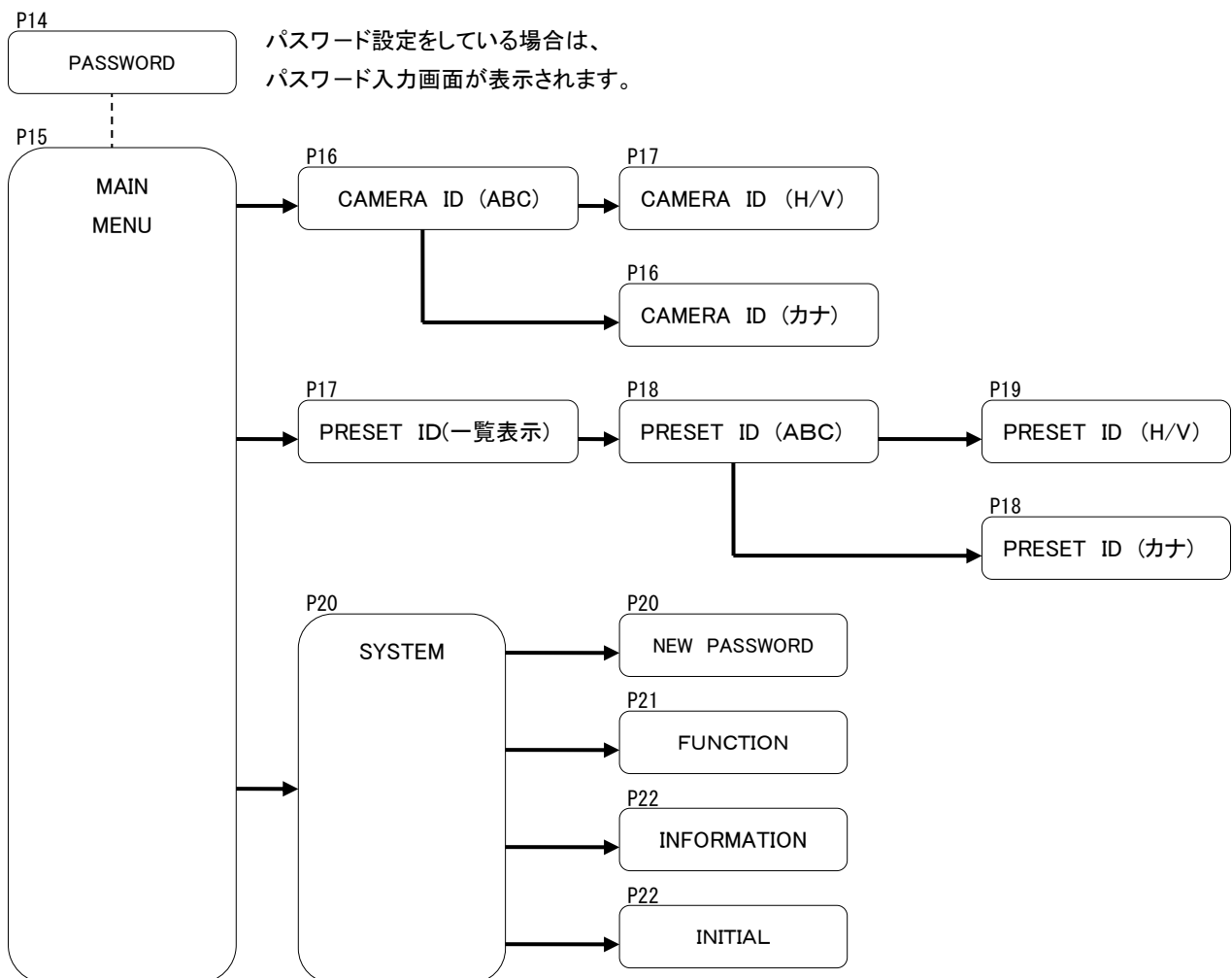
ここからは、SCXのOSDメニュー設定について説明しております。

1. メニューの構成
2. メインメニュー
3. カメラID表示と設定
4. プリセットID一覧表示と設定
5. システム

通信制御についての詳細な説明は、各回転カメラの通信仕様書をご参照ください。

《 1. メニューの構成 》

メニュー表示のフロー



《 2. メインメニュー 》

2-1 パスワード設定有効の場合（パスワード設定無効の場合は 2-3 へ）

パスワード入力画面「PASSWORD ?」

PASSWORD ? 1 1 1 1	0000~9999
-----------------------	-----------

パスワード設定が有効なときに、メニューを起動した場合に最初に表示される画面です。

数値入力は、左から順番に一桁ずつ、カーソルキーの上下操作で選択し、任意の数値でSETキーを押します。次の桁を設定します。4桁すべてを設定し、SETキーを押すと、正しければ、メインメニュー画面が表示されます。

2-2 パスワードを忘れた時の回避手順

PASSWORD ? 1 1 1 1	0000~9999
ERROR	

パスワードを忘れてしまい入力した数値が間違っていると、上記画面となります。

パスワード回避手順として、4桁すべてに0を設定し、CLRキーを押すと、メインメニュー画面が表示されます。

2-3 パスワード設定無効の場合

メインメニュー画面「MAIN MENU」

MAIN MENU		
CAMERA ID	OFF	OFF/SHORT/ALL
PRESET ID	OFF	OFF/ON
SYSTEM	SET	↓
MENU	END	

メニューを起動したときに、最初に表示する画面です。

パスワード機能を設定している場合は、パスワード入力画面が表示され、入力が正しければ、メイン画面が表示されます。

- ・ CAMERA ID
カメラ固有のタイトル(ID)を設定して表示させる画面へ変わります。
SHORT、ALLの設定があります。
SHORTはカメラ固有のタイトル(ID)を表示します。
ALLはカメラアドレスとカメラ固有のタイトル(ID)を表示します。
表示方法については、カメラID表示と設定を参照してください。
SETキーで、ID入力画面が表示されます
- ・ PRESET ID
プリセットポジションごとに、固有のタイトル(ID)を設定して表示させることができます。
SETキーで、プリセット番号の一覧画面が表示されます。
表示方法については、プリセットID一覧表示と設定を参照してください。
※ PRESET ID表示は、CAMERA IDの設定個所で、SHORTまたはALLを選択した場合のみ表示されます。
- ・ SYSTEM
機器固有の設定をする画面へ変わります。
SETキーで、設定画面が表示されます。
- ・ MENU
SETキーで、メニュー画面の終了です。

表示例1. CAMERA ID (ON)、PRESET ID (OFF)の場合 ※1

SHORT設定	ALL設定(H方向)	ALL設定時(V方向)
*****	001 *****	001 *****

表示例2. CAMERA ID (ON)、PRESET ID (ON)の場合 ※1, ※2, ※3

SHORT設定	ALL設定(H方向)	ALL設定(V方向)
***** #####	001-001*****#####	001-001 ***** #####

※1 “*”はカメラIDが表示されます。

※2 “#”はカメラIDが表示されます。

※3 “001-001”は左側カメラアドレス、右側プリセットポジション番号が表示されます。

《 3. カメラID表示と設定 》

3-1 カメラID設定画面（英数字入力）「CAMERA ID」

CAMERA ID		

ABCDEF GHIJKLM		
NOPQRSTU VWXYZ		
0123456789 :-		
CHARACTER	ABC	ABC/か
POSITION	V ↓	H/V
DEFAULT	OFF	OFF/ON
MENU	BACK ↓	BACK/END

アンダーバーのある位置が変更する文字です

カメラID設定（英数字入力）

カメラ固有のタイトル(ID)を8文字設定できます。カーソルキー操作で文字を選択しSETキーで、決定します。

- CHARACTER
英数字(ABC)／カタカナ(カナ)入力画面切り替え。「カナ」を選択後、SETキーで、カタカナ入力画面になります。
- POSITION
H方向に設定すると、IDとポジションタイトルを横一列に表示します。V方向に設定した場合は、IDとポジションタイトルを2列で表示します。縦横位置を微調整する場合は、HまたはV選択後、SETキーで、カメラID表示位置設定画面が表示されます。
- DEFAULT
ONを選択後SETキーで、内容を初期状態(クリア)に戻します。
- MENU
BACKを選択後SETキーで、メイン画面に戻ります。

3-2 カメラID設定画面（カタカナ入力）「CAMERA ID」

CAMERA ID		

アカサタナハマヤラワガザダバハッ■		
イキシチニヒミリギジヂビビャ(
ウクスツヌフムユルヲグズヅブフユ)		
エケセテネハメレゲゼデベペヨ.		
オコソトノホモヨロンゴゾトホホ :-		
CHARACTER	カナ	カナ/ABC
MENU	BACK ↓	BACK/END

アンダーバーのある位置が変更する文字です

カメラID設定（カタカナ入力）

- CHARACTER
カタカナ(カナ)／英数字(ABC)入力画面切り替え。「ABC」を選択後、SETキーで、カタカナ入力画面になります。
- MENU
BACKを選択後SETキーで、メイン画面に戻ります。

3-3 カメラID 表示位置設定画面「H/V CAMERA ID」と表示方法

V 方向選択時 (ALL 設定時)

```
001
*****
```

H 方向選択時 (ALL 設定時)

```
001 *****
```

V 方向選択時 (SHORT 設定時)

```
*****
```

H 方向選択時 (SHORT 設定時)

```
*****
```

表記の「001」は、カメラアドレスです。「001」～「255」まで表示します。

表記の「*****」は、カメラIDが表示されます。最大8文字です。

カメラID 表示位置設定画面では、カーソルキーで、表示位置を上下左右に移動させることができます。

《 4. プリセットID一覧表示と設定 》

4-1 プリセットID一覧表示画面「PRESET ID」

```
PRESET ID

1 : *****
2 : *****
3 : *****
4 : *****
5 : *****
6 : *****
7 : *****
8 : *****
9 : *****
10 : *****
```

```
PRESET ID

251 : *****
252 : *****
253 : *****
254 : *****
255 : *****
```

ポジションは、[1～10], [11～20], ..., [241～250], [251～255] の10毎に表示。

ただし、0pos は、選択できません。

カーソルキーを上下左右に移動させることによりポジションを選択し、SETキーで決定します。

SETキーで決定後、旋回カメラのプリセットポジション登録があれば、その位置へ移動します。

「*」印は、プリセット毎のタイトル表示は設定されていません。

プリセットポジションID設定画面で、DEFAULTをONにした場合、タイトルがクリアされ、「*」表示となります。

4-2 プリセットID表示設定画面（英数字入力）「PRESET ID」

PRESET ID		
***** _		アンダーバーのある位置が変更する文字です
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 : -		
CHARACTER	A B C	ABC/カナ
POSITION	V ↓	H/V
DEFAULT	OFF	OFF/ON
MENU	BACK ↓	BACK/END

プリセットID設定（英数字入力）

プリセットごとにタイトル(ID)を8文字設定できます。

操作器より、プリセットポジションを実行した時に、設定したタイトルを表示します。

ただしプリセットポジション以外のコマンドを実行すると、カメラID表示に戻ります。

カーソルキー操作で文字を選択しSETキーで、決定します。

- CHARACTER
英数字(ABC)／カタカナ(カナ)入力画面切り替え。「カナ」を選択後、SETキーで、カタカナ入力画面になります。
- POSITION
H方向に設定すると、IDとポジションタイトルを横一列に表示します。V方向に設定した場合は、IDとポジションタイトルを2列で表示します。縦横位置を微調整する場合は、HまたはV選択後、SETキーで、プリセットID表示位置設定画面が表示されます。
- DEFAULT
ONを選択後SETキーで、内容を初期状態(クリア)に戻します。
- MENU
BACKを選択後SETキーで、プリセットID一覧表示画面に戻ります。

4-3 プリセットID表示設定画面（カタカナ入力）「PRESET ID」

PRESET ID		
***** _		アンダーバーのある位置が変更する文字です
アカサタナハマヤラワガザダバハツ ■ イキシチニヒミ リ ギジヂビビヤ(ウクスツヌフムユルヲグズヅブフユ) エケセテネハメ レ ゲゼデベペヨ . オコソトノホモヨロンゴゾトホホ :-		
CHARACTER	カナ	カナ/ABC
MENU	BACK ↓	BACK/END

プリセットID設定（カタカナ入力）

- CHARACTER
カタカナ(カナ)／英数字(ABC)入力画面切り替え。「ABC」を選択後、SETキーで、英数字入力画面になります。
- MENU
BACKを選択後SETキーで、プリセットID一覧表示画面に戻ります。

4-4 プリセットID表示位置設定画面「H/V PRESET ID」と表示状態

V方向選択時 (ALL 設定時)

```
001-255  
*****  
#####
```

H方向選択時 (ALL 設定時)

```
001-255 *****#####
```

V方向選択時 (SHORT 設定時)

```
*****  
#####
```

H方向選択時 (SHORT 設定時)

```
***** #####
```

- 表記の「001」は、カメラアドレスです。「001」～「255」まで表示します。
 - 表記の「255」は、プリセットポジションです。「001」～「255」まで表示します。
 - 表記の「*****」は、カメラIDが表示されます。最大8文字です。
 - 表記の「#####」は、ポジションごとのタイトルが表示されます。最大8文字です。
- 微調整画面では、カーソルキーで、表示位置を上下左右に移動させることができます。
(ただし、ALL設定時のH方向表示は、左右移動は出来ません。)

《 5. システム 》

5-1 システム設定画面「SYSTEM」

SYSTEM		
PASSWORD	OFF	OFF/ON
	OK?	
FUNCTION	SET	
INFORMATION	SET	
INITIAL	OFF	OFF/ON
MENU	BACK	BACK/END

- **PASSWORD**
メニューを呼び出したときに、PASSWORDを設定すれば、以後メニューを開くときに、正しいパスワードを入力しないとメニュー表示が出来ません。
変更する場合は、*SET*キーで、「OK?」表示が出ますので、再度 *SET*キーを押します。
ONを選択した場合は、新規のパスワード設定画面が表示されます。
- **FUNCTION**
SCXの各種機能設定をします。
- **INFORMATION**
現在接続されているカメラの機種やバージョンなどの確認ができます。
- **INITIAL**
SCXのメモリー内容(各種ID表示など)をすべて初期化して、工場出荷状態に戻します。
ONを選択後、*SET*キーで、「OK?」の確認表示がでますので、再度 *SET*キーで、実行します。
- **MENU**
BACKを選択後 *SET*キーで、メイン画面に戻ります。

5-2 パスワード設定画面「NEW PASSWORD ?」

NEW PASSWORD ?
1 1 1 1
0000~9999
SET

新規パスワード設定する時の画面

数値入力、左から順番に一桁ずつ、カーソルキーの上下操作で選択し、任意の数値で *SET*キーを押します。次の桁を設定します。4桁すべて設定し、*SET*キーを押すと、パスワードが保存されます。

FUNCTION			
LOCAL SPEED			
PAN	3		1/2/3/4/5
TILT	3		1/2/3/4/5
ZOOM	2		1/2/3/4
FOCUS	2		1/2/3/4
STATUS CHECK	EXT		EXT/INT
LOC PRIORITY	OFF		ON/OFF
MENU	BACK		BACK/END

- LOCAL SPEED

- PAN 左右押しボタンスイッチによるPAN動作速度を変更できます。5段階の設定が可能で、数値が大きいほど高速に動作します。
- TILT 上下押しボタンスイッチによるTILT動作速度を変更できます。5段階の設定が可能で、数値が大きいほど高速に動作します。
- ZOOM レンズ押しボタンスイッチによるZOOM動作速度を変更できます。4段階の設定が可能で、数値が大きいほど高速に動作します。
- FOCUS レンズ押しボタンスイッチによるFOCUS動作速度を変更できます。4段階の設定が可能で、数値が大きいほど高速に動作します。

- STATUS CHECK

この設定はSEQ/RND動作中にプリセットIDを連動させる場合の設定方法です。

SEQ/RND動作中は、旋回カメラの状態を確認し、プリセットIDを表示させるので、旋回カメラと定期的に状態を確認するのをリモート制御機器で行うか(EXT)、SCX本体が行うか(INT)の設定をします。

通常、PTC-123CBの操作器で組み合わせる場合の状態確認は、操作器で行いますので、「EXT」設定としてください。PTC-032CB又は、お客様にて独自に、ご用意されました制御機器の場合は、SEQ/RND動作中に、「?8 : 旋回台情報-2」コマンド ※1 で定期的に状態確認を行う必要があります。もし制御器側に、このような機能がなく、SEQ/RND動作中のプリセットIDを表示したい場合は「INT」をご使用ください。但し、「INT」設定はSCXより、カメラに対して定期的に状態確認を行うので、その期間中のリモート通信が若干遅れる場合もあります。

※1 「?8 : 旋回台情報-2」コマンドについては、各カメラの通信仕様をご参照ください。

- LOC PRIORITY

この設定はローカル操作中(メニュー操作含む)のローカル/リモート制御との優先権の設定方法です。

「OFF」設定は、ローカル操作中(メニュー操作含む)に、リモート制御(制御コマンド)を受信した場合、リモート制御(制御コマンド)を優先して、ローカル操作(メニュー設定)を中断して、旋回カメラの制御を有効とします。

「ON」設定は、ローカル操作中(メニュー操作含む)に、リモート制御(制御コマンド)を受信した場合、SCX本体が代理応答を行い、ローカル操作(メニュー操作含む)も保持します。リモート制御(制御コマンド)の旋回カメラ動作は行いません。

「ON」「OFF」設定に関わらず、ステータス要求コマンドは旋回カメラと通信を行い、ローカル操作(メニュー操作含む)も保持します。

- MENU

BACKを選択後、SETキーで、システム画面に戻ります。

5-4 システム情報「SYSTEM INFORMATION」

SYSTEM INFORMATION			
ADDRESS		0001	
CPU VER		0200	
PLD VER		0110	
CAM TYPE		PTC-301	
CAM VER		0114	
CX VER		0101	
VIDEO		CAM ON	CAM ON/CAM OFF
MENU		BACK	BACK/END

接続されている旋回カメラの機種や各ファームウェアのバージョンを確認することが出来ます。

- ・ ADDRESS
SCXのアドレスを表示。
- ・ CPU VER
SCXのCPUファームウェアのバージョンを表示。
- ・ PLD VER
SCXのPLDファームウェアのバージョンを表示。
- ・ CAM TYPE
旋回カメラの機種を表示。
- ・ CAM VER
旋回カメラのCPUファームウェアのバージョンを表示。
- ・ CX VER
旋回カメラ同軸制御のCPUファームウェアのバージョンを表示。
- ・ VIDEO
旋回カメラの映像状態を表示。

5-5 イニシャル画面「INITIAL」

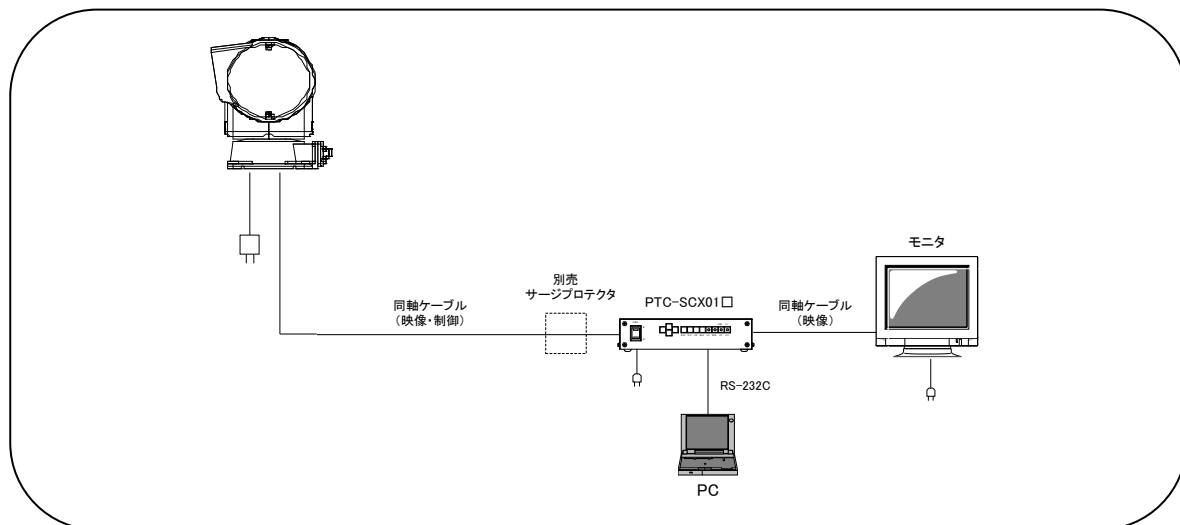


イニシャルを実行すると「MEMORY ALL CLEAR」が点滅をします。(約10秒)

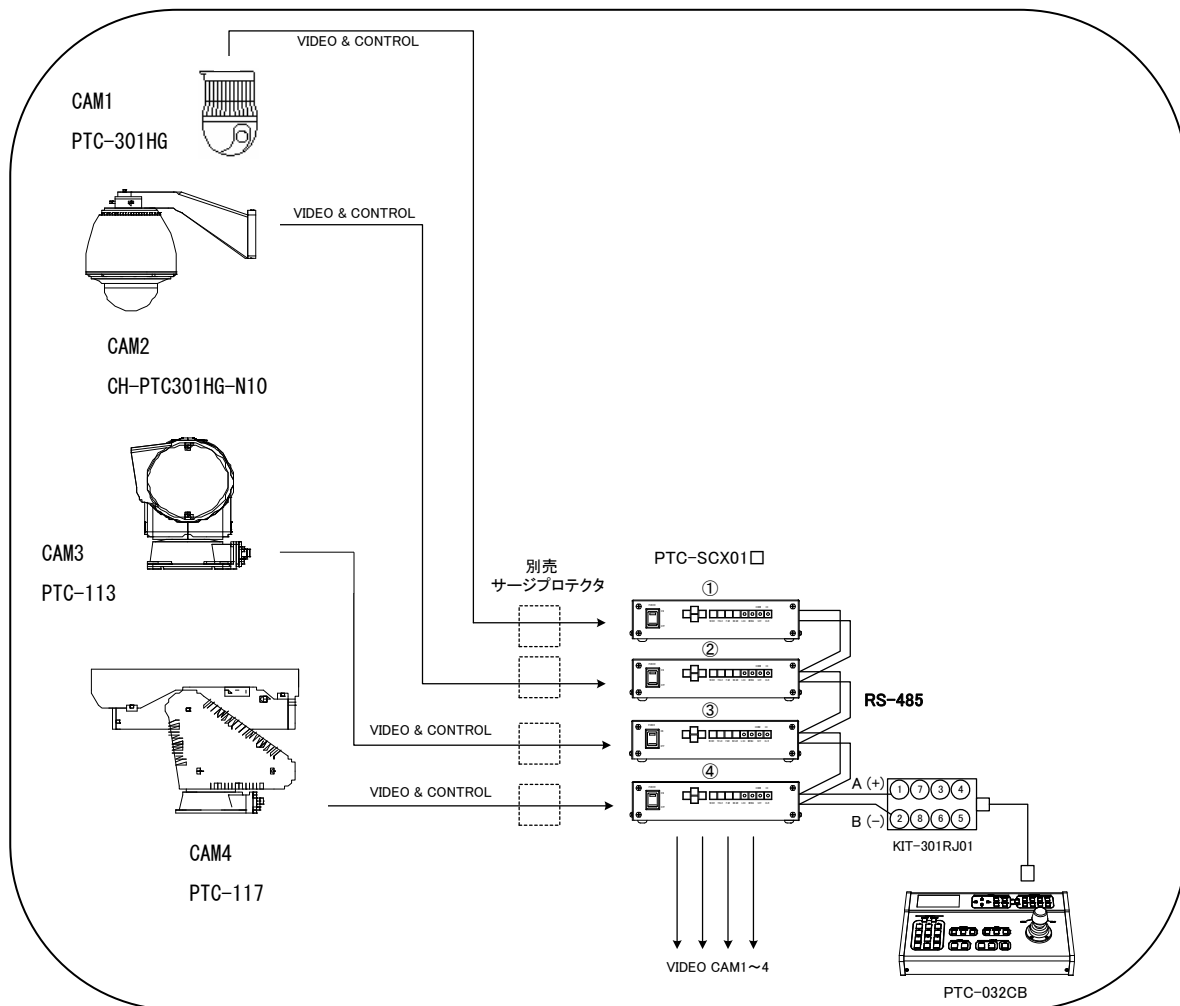
SCXのメモリー内容(各種ID表示など)をすべて初期化し、工場出荷状態に戻した後、初期動作をして終了です。

システム接続例

① RS-232Cで制御する場合（1台）



② RS-485で制御する場合（複数台）



● SCXから、旋回カメラまでのケーブル長は、使用される同軸ケーブルにより異なります。

5C-2V MAX 1.2km

7C-2V MAX 1.7km

※通信距離は設置状況（外来ノイズで映像が乱れる場合や映像信号が極端に低下している場合等）によっては、上記距離を満たさない場合もありますので予めご了承ください。

困ったときは

SCXに関する内容となっています。

旋回カメラについては各々の取扱説明書又は通信仕様書をご参照ください。

こんなときは？	確認してください。	こうしてみてください。
正常動作しない。	POWERのLED(緑)が点灯していますか？	AC100V 又は電源スイッチを確認してください。
映像がでていない。	映像ラインの接続はお済ですか？	AC インレット内のヒューズが切れていないか確認してください。 旋回カメラ側の電源は入っているか、確認してください。
旋回カメラがローカル操作で動作しない。	前面部 LOC LED は点灯していますか？	前面部LOCボタンを一度押してLOC LEDが点灯後、ローカル操作を行ってください。
旋回カメラが動作はするが、思うように動作しない。	リモート制御からシリアル信号が常に入力されていませんか？	リモート制御からの操作を一旦停止してから、ローカル操作を行ってください。
	前面部 CX LED は点灯していますか？	映像ラインの接続がされていないか、映像ラインに障害があるかもしれません。映像ラインの再確認か？SCX と旋回カメラを短距離で確認してみてください。
ローカル操作でメニュー設定ができない。	前面部 LOC LED は点灯していますか？	前面部LOCボタンを一度押してLOC LEDが消灯後、メニュー操作を行ってください。
旋回カメラがリモート制御で動作しない。	前面部 CX LED は点灯していますか？	映像ラインの接続がされていないか、映像ラインに障害があるかもしれません。映像ラインの再確認か？SCX と旋回カメラを短距離で確認してみてください。
	前面部 COMM LED は点滅していますか？	制御入力信号の接続を確認してください。
		前面部 COMM LED が点滅していないようであれば、送信データのアドレス(0x01)を確認してください。
		通信コマンドの確認をしてください。詳細は各旋回カメラの通信仕様を確認してください。

以上の内容に該当しない場合やご不明な点がございましたら、当社までご連絡ください。

(株) ミカミ 特機営業部

TEL 03 (3230) 4511

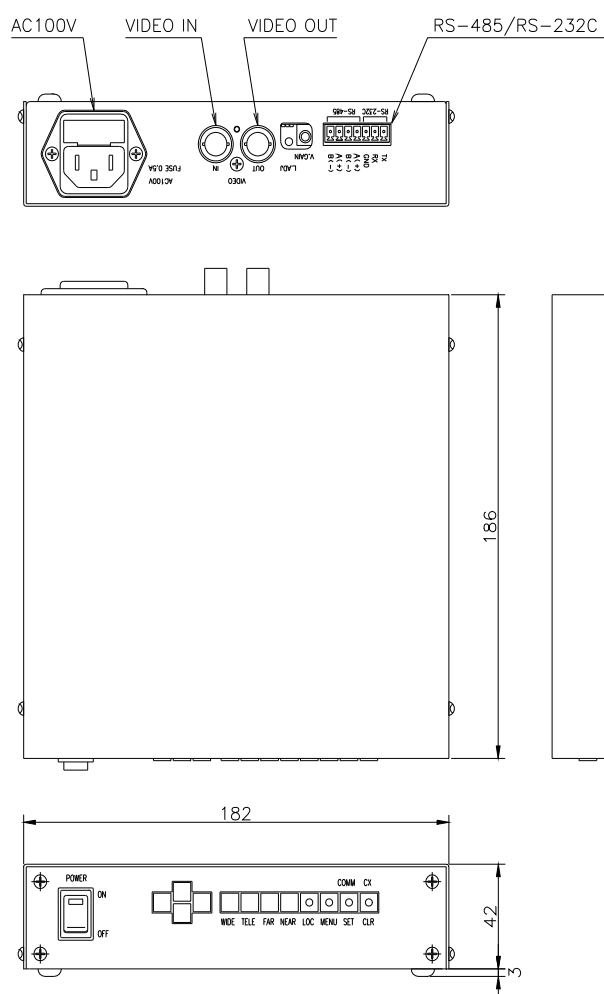
仕様

[PTC-SCX01C]

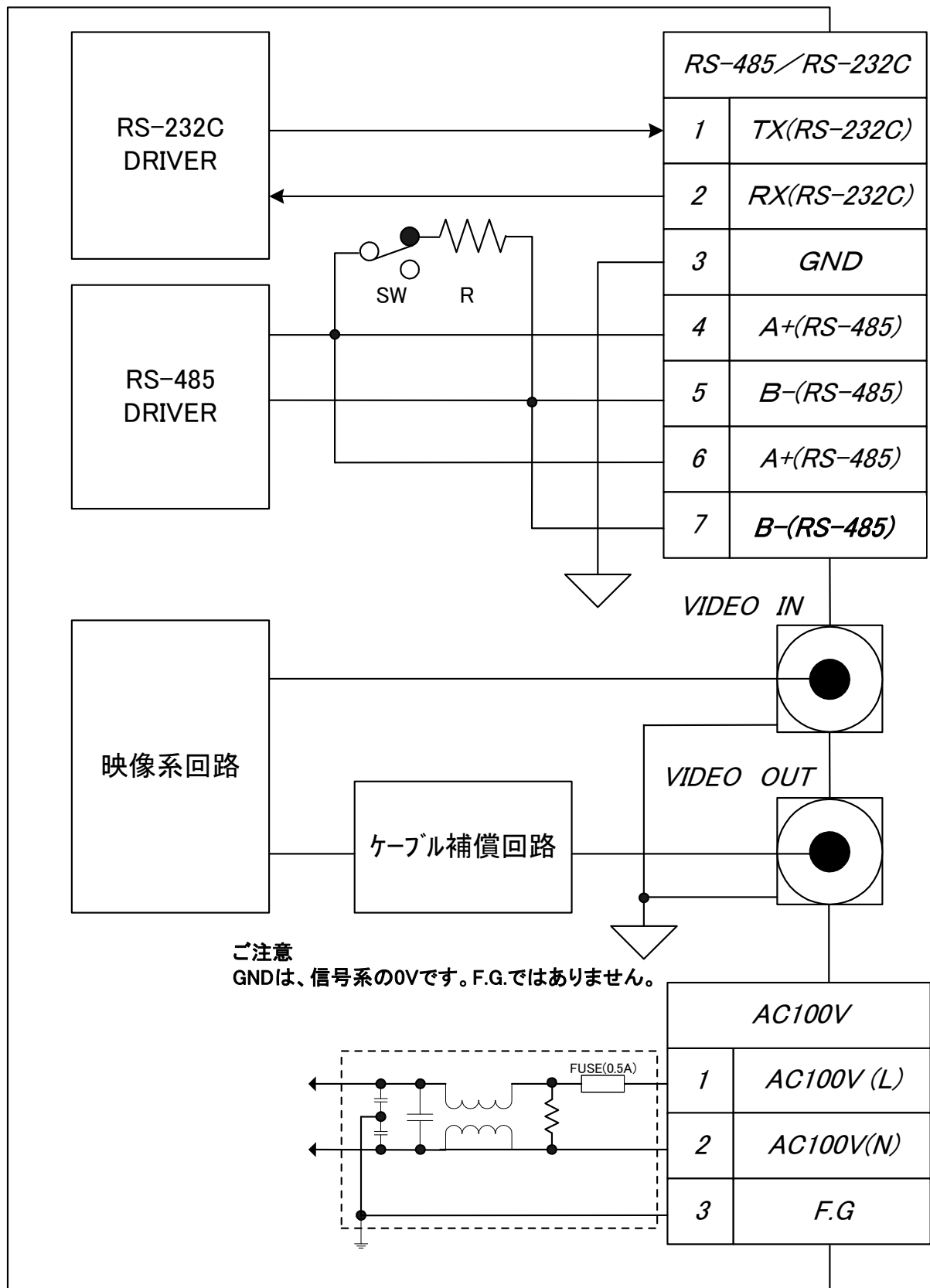
使用条件	屋内一般（埃、粉塵、水滴がないこと）
使用温度範囲	0°C～+45°C
使用湿度範囲	85RH%以下（但し、結露のないこと）
使用電源	AC100V ±10% 50/60Hz
消費電流	0.2A 以下（突入時は除く）
絶縁抵抗	50MΩ 以上（但し、常温・常湿 DC500V 以下にて）
耐電圧	AC1000V 50Hz 1分間印加して異常ないこととします
外形	182(W) × 186(D) × 42(H) （但し、突起物等は除きます）
制御入力信号	7ピン制御用コネクタ（RS-485 又は RS-232C どちらかを選択して接続します）
使用材質	耐食アルミ板（A5052P）
外観仕上げ	マンセル5 Y 8 / 1半ツヤ塗装及び原色アルマイト処理
質量	約 0.7 kg
付属品	ガラス管ヒューズ（125V 0.5A Φ5.2 × 20）1個 電源ケーブル 3m 1本 制御用接続コネクタ（MC1, 5/7-ST-3, 81）1個 * 同軸コネクタプラグは付属品に含まれておりませんので、別途、ケーブルに合わせてご注文ください。

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

外形図



インターフェース接続図



※制御入力端子の RS-485 又は RS-232C どちらかを選択して接続します。

製品の保証について

<保証期間>

本製品の保証期間は弊社(株式会社ミカミ)が納入した日より1年間とし、弊社保証規定に基づき無償修理を行うことをお約束いたします。

<製品保証規程>

- 1.上記記載の保証期間において、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った、正常な使用状態で万一故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
- 2.保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。
 - (1)ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
 - (2)お買い上げ後の輸送、移転、落下などによる故障および損傷。
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4)本製品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障および損傷。
 - (5)消耗部材を取り替える場合。
 - (6)指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷。
- 3.この保証規程は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

* 本製品の故障に起因する付随的損害については補償いたしかねます。

<修理について>

- 1.本製品の修理は引き取り修理とさせていただきます。
- 2.修理内容によっては設定内容、ログなどが消えることがあります但し当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 

特機営業部

〒102-8520 東京都千代田区麹町 1-10-1 ミカミビル3階

TEL. 03 (3230) 4511 FAX. 03 (3230) 3451

西日本支店

〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル8階

本書は、予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

MUM0288-5

2015.09